

東海

2020年度 3号

東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2020年12月24日

発行 東海大学山形高等学校

編集 広報室

〒990-2339 山形市成沢西3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL <http://www.ymgt-tokai.ed.jp/>



祝第71回全国高等学校駅伝競走大会出場

男子陸上競技部

平間大輝、結城吉人、齋藤陸社、関 碧依、鎌田匠馬、木村快斗、
(3-3山形一中)(3-3柳岡中)(3-5上山北中)(3-8上山南中)(2-2山形十中)(2-2陵南中)
佐藤伶音、小松太洋、細谷達斗、草薙成海、菊地道豊、長澤 遼
(2-3陵南中)(2-4山形四中)(2-4山形一中)(2-7上山北中)(1-5大江中)(1-5山形一中)

2020年12月20日(日)

京都市西京極総合運動公園陸上競技場

入学試験日程

2021年1月19日(火)

推薦入学試験Ⅰ

学業奨学生入学試験

2021年1月30日(土)

一般入学試験

2021年3月19日(金)

推薦入学試験Ⅱ



体育祭実行委員長 佐藤 進太郎 (3-4 河北中)

「今年の体育祭は、例年とは違う、新しい競技や取り組みをしよう。」そう話し合い、体育祭実行委員会は動き出しました。

しかし、今年は、コロナウイルスの影響もあり、イレギュラーな日程になってしまいました。競技を制限し、規模を縮小することが条件でしたが、無事、体育祭を開催することができました。

多くの方々から支えながら実行委員長としてやってきた今年1年は、とても実りのある充実したものになりました。体育祭を開催できることを当たり前と思わず、協力していただいた先生方への感謝の気持ちは忘れてはいけないとも感じました。ありがとうございました。



コロナ禍のため延期になっていた体育祭が、10月21日(水)にあかねヶ丘陸上競技場で行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、例年より競技を減らし、クラスごとに陣地の間隔を広く取り、密を避けて実施しました。

実施した競技は、「クラス対抗リレー」、「クラス対抗綱引き」、「クラス対抗大縄跳び」の3種目です。「クラス対抗リレー」では、クラス担任がアンカーを務め、ゴールテープを切るまで、拍手の応援で盛り上がりました。「クラス対抗綱引き」では、勝ったときは、全員で跳びはねて喜んでいました。「クラス対抗大縄跳び」では、練習から熱が入り、クラスの代表として選ばれた20名が精いっぱい跳んでいました。

今年は応援旗を作製できませんでしたが、クラスTシャツ作製など実行委員を中心に事前準備にも力をいれ取り組んできました。規模を縮小した形での開催でしたが、生徒達はとても楽しんで競技をしていました。今年度の優勝は3年9組「小林先生クラス」。何と、全種目優勝という快挙を成し遂げました！



吹奏楽部の定期演奏会が開催されました

コロナ禍の影響で吹奏楽コンクールの中止、秋以降の地域での諸行事もすべて中止になり、冬に行われるアンサンブルコンテストだけが、規模の縮小と無観客を条件に、ようやく開催が決まりました。そのような状況の中でも、10月10日(土)に第28回定期演奏会を開催することができました。例年は、6月に2公演を行っていましたが、1公演に規模を縮小しました。また、ステージ前方に約2mのせり出しを作ったり、隣の演奏者との間に透明シートを設置するなどの感染対策を行い、部員全員での合奏を実現することができました。

観客は、ソーシャルディスタンスを確保するために、部員の家族と親せきの方のみとし、生で演奏を聴いていただくことができました。また、入場できなかつた一般の方には、YouTubeで生配信を行いました。ライブ配信時の視聴者は常に200名を超え、その後アーカイブによる動画配信を続け、11月中旬時点で延べ3700名を超える方々に視聴していただきました。皆さん、ご視聴ありがとうございました。



東海大学付属推薦入学 医学部医学科3名合格！！

12月3日(木)に東海大学付属推薦入学試験の合格発表が行われ、翌4日(金)に合格証書の伝達式が行われました。今年度は、48名の合格者一人ひとりに岡田恵子校長先生より合格証書が授与されました。医学科の合格者は19年度2名、20年度2名、21年度3名と複数の合格者を3年連続で輩出することができました。

引き続き、東海大学入学に向けての心得についての講話が校長先生からありました。合格者にはこれから、入学手続きのほかにGTEC(CBT)による大学入学後の英語のクラス分けテスト(プレイスメントテスト)や入学前学習(オンライン学習)が課せられており、入学に向けて準備を進めていくことになります。なお、12月19日(土)20日(日)にオンラインによる合格者説明会が行われ、そこで各学部からさらに詳しい入学までの準備について説明がなされました。

東海大学は、日本で最大級の学部・学科数を誇る総合大学です。様々な学部に進む生徒たちの活躍を祈っています。



【合格学部学科一覧】

医学部 医学科	3名	情報理工学部 コンピュータ応用工学科	3名
医学部 看護学科	2名	工学部 光・画像工学科	2名
文学部 歴史学科 日本史専攻	1名	工学部 電気電子工学科	3名
文化社会学部 広報メディア学科	2名	工学部 建築学科	3名
文化社会学部 心理・社会学科	1名	工学部 精密工学科	1名
政治経済学部 政治学科	2名	工学部 動力機械工学科	2名
政治経済学部 経済学科	2名	工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	1名
法学部 法律学科	4名	情報通信学部 情報メディア学科	1名
教養学部 人間環境学科 自然環境課程	1名	情報通信学部 通信ネットワーク工学科	1名
教養学部 人間環境学科 社会環境課程	2名	海洋学部 環境社会学科	1名
体育学部 体育学科	1名	海洋学部 海洋生物学科	1名
体育学部 武道学科	1名	海洋学部 航海工学科 航海学専攻	1名
体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科	1名	国際文化学部 地域創造学科	2名
理学部 数学科	1名	生物学部 海洋生物科学科	1名
理学部 化学科	1名		

第一学年・第二学年の進路学習会を行いました

11月12日(火)に、第一学年の進路学習会を行いました。高校生活の早い段階で、進路や卒業後の人生を考えることで、今後の高校生活をより充実したものにするためです。希望する分野に分かれて、それぞれの大学や専門学校の先生方から説明を受けました。講師の方が質問しやすい雰囲気を作ってくださったおかげで、希望した分野の内容を深く知ることができる学習会となりました。

また、11月18日(水)には、第二学年の進路学習会を行いました。今年度は、商工会議所主催のジュニアインターンシップが中止となり、県内企業への理解を深める機会がありませんでした。そこで、はたらくことの意義を知ってもらうことを目的として、5社の県内企業に来校していただき、「地元企業を知り、働く現場を知る」と題して、地域企業との交流事業を実施しました。生徒は、企業の方々の話に真剣に耳を傾け、県内企業の仕事を知るきっかけとなり、充実した時間となりました。



県高校駅伝競走大会 大会新記録で4連覇！！

第71回全国高等学校駅伝競走大会の予選を兼ねた県高校駅伝競走大会が、10月31日(土)に長井市陸上競技場を発着点で行われ、大会新記録で4年連続18回目の優勝を達成しました。

各チームのエースがそろう1区は草薙成海君(2-7 上山北中)がプラン通りに区間2位の好走で櫻を渡し、チームに最良の流れを作ることに成功しました。2区佐藤伶音君(2-3 陵南中)と3区木村快斗君(2-2 陵南中)は、共に区間1位のタイムを出し、トップに迫る走りを見せました。続く4区鎌田匠馬君(2-2 山形十中)は、区間記録まで5秒と迫る走りで4区の中間地点でトップに立ちました。スピードを要する5区小松太洋君(2-4 山形四中)は、従来の記録を6秒更新する区間新記録で走り抜け、首位をキープし、6区キャプテン齋藤陸杜君(3-5 上山北中)は、区間1位のタイムをたたき出し、1位のままアンカーの7区細谷建斗君(2-4 山形一中)に繋ぎました。細谷建斗君も区間記録にあと1秒と迫る好タイムで2位に2分40秒余りの差をつけ、大会新記録でフィニッシュテープを切ることができました。

部員全員が最後まで強い気持ちをもって櫻を繋いだ、最高のレースができたと思います。



男子陸上競技部 主将 齋藤 陸杜 (3-5 上山北中)

今年も連覇ができたのは、多くの方々からの協力と応援があってのことだと感謝しています。春から練習がままならない中、各自が自分の練習を考え、自分を鍛えてきたことが優勝と大会新記録につながったのだと思います。また、このチームは団結力があり、陸上部員全員が自分の役割をよく理解し、支え合うことができる最高の武器です。この強さを櫻に込めて、都大路で勝負したいと思います。

県・地区新人大会の活躍

山形県新人大会

ソフトボール部

2位

荒川ひな	今林陽菜	内藤結芽
(2-4 米沢二中)	(2-4 山形四中)	(2-5 米沢四中)
渡邊葵葉	五十嵐小雪	手塚心彩
(2-5 陵南中)	(2-6 陵南中)	(2-6 米沢四中)
安藤夢月	大瀧莉々	中川瑠七
(2-7 山形三中)	(2-7 米沢四中)	(2-8 米沢一中)
細谷好美	村川愛莉	石川 恵
(2-8 天童四中)	(2-9 楠岡中)	(1-3 陵南中)
小森愛加	粥川 優	金田陽夢
(1-3 山形六中)	(1-3 神町中)	(1-4 長井北中)
志田星来	羽柴蓮亜	荒木望羽
(1-4 陵南中)	(1-4 山形二中)	(1-5 陵南中)
半田恵実	新関彩羽	加藤めい
(1-5 山形九中)	(1-5 山形七中)	(1-7 山形五中)

ソフトテニス部

【男子】

団体

3位

丹野 耀	今井悠介	櫻井涼介
(2-1 中山中)	(2-2 上山北中)	(2-2 上山南中)
田村優樹	中野 倭	山川詩穂
(2-2 山形四中)	(2-2 赤湯中)	(2-2 山形六中)

柔道部

【男子】

団体

3位

小林謙吾	奈良晟太朗	小泉 拳
(2-4 山形四中)	(2-4 高畠中)	(2-5 平塚金目)

個人

佐藤 礼	6 0 kg 級	1位
(2-7 御野場中)		
菅井珂蘭司	6 0 kg 級	3位
(1-8 楠岡中)		
大泉 晟	6 6 kg 級	2位
(2-8 中山中)		
小林夢人	6 6 kg 級	3位
(1-8 山形七中)		
小林謙吾	7 3 kg 級	2位
(2-4 山形四中)		

小野塙諒(2-8 上山南中) 90kg級 3位

【女子】

団体

3位

市川楓梨	鈴木亞優	奈良萌々香
(1-1 高畠中)	(1-7 陵南中)	(1-7 高畠中)
今野来愛	志鎌心優	
(1-8 陵南中)	(1-8 山形八中)	

個人

今野来愛(1-8 陵南中) 48kg級 2位

市川楓梨(1-1 高畠中) 57kg級 1位

奈良萌々香(1-7 高畠中) 78kg級 2位

鈴木亞優(1-7 陵南中) 78kg級超 1位

空手道部

【男子】

個人組手

豊田将史(1-4 山大附中) -68kg級 3位

東北大会出場

【女子】

個人組手

宗片愛莉(2-8 高畠中) -48kg級 3位

村山地区新人大会

弓道部

【女子】

団体

3位

秋葉未来 秋山莉穂 毛屋小雪

(2-2 山形七中) (2-3 山形一中) (2-3 山形五中)

渡邊 優 岡迫優芽 吉田夏梨

(2-3 山形十中) (2-4 山形三中) (2-4 山形十中)

全国高校バスケットボール選手権大会県予選会

女子バスケットボール部

3位

内山美玖 加藤麻理亜 黒沼さくら

(3-4 高畠中) (3-4 米沢七中) (3-6 神町中)

古城由彩 齋藤 葵 佐竹南菜

(3-6 陵南中) (3-9 陵東中) (3-9 陵南中)

笛井望乃 藤村奈央 横山なみ

(2-2 市川四中) (2-3 山形六中) (2-3 河北中)

栗田茉弥 佐藤南知 小林夏鈴

(2-4 米沢四中) (2-4 山形十中) (2-7 高橋中)

福武星空 鈴木音彩 尾関華奈

(2-8 中山中) (2-9 神町中) (1-1 山形三中)

全国高校柔道選手権県予選会

柔道部

【男子】

団体

3位

東北大会出場

小林謙吾 奈良晟太朗 小泉 拳

(2-4 山形四中) (2-4 高畠中) (2-5 平塚金目)

三浦弘暉 小野塙諒

(2-6 山形十中) (2-8 上山南中)

個人

菅井珂蘭司(1-8 楠岡中) 60kg級 1位

全国・東北大会出場

佐藤 礼(2-7 御野場中) 60kg級 2位

東北大会出場

塩谷颯太(1-5 伊勢崎一) 60kg級 3位

東北大会出場

小林夢人(1-8 山形七中) 66kg級 3位

東北大会出場

小林謙吾(2-4 山形四中) 73kg級 3位

東北大会出場

若月真都偉(1-6 朝日中) 73kg級 3位

東北大会出場

【女子】

団体

2位

東北大会出場

市川楓梨 鈴木亞優 奈良萌々香

(1-1 高畠中) (1-7 陵南中) (1-7 高畠中)

今野来愛 志鎌心優

(1-8 陵南中) (1-8 山形八中)

個人

今野来愛(1-8 陵南中) 48kg級 3位

市川楓梨(1-1 高畠中) 52kg級 1位

全国・東北大会出場

鈴木亞優(1-8 陵南中) 無差別級 2位

東北大会出場

第2回 オープンスクール「高校入試 1day セミナー」が開催されました

10月18日(日)に第2回オープンスクール「高校入試 1day セミナー」を開催しました。今年度は、コロナ禍の中での開催ということもあり、全体会は行わず、教室で受付をする形としました。教室での密を避けるため、受講者も25名程度で行いました。

1、2時間目は、入試科目の5教科7講座から選択した2講座を受講してもらいました。パワーポイントなどを活用した講座に、中学生からは「丁寧な説明で分かりやすかった。」「自分の苦手な所が解けるようになった。」と感想をいただきました。

また、並行して行われた保護者説明会では、アオバゼミナールの堺先生による「高校入試対策講座」も行われました。参加した約200名の保護者は、熱心に話を聞いていました。

今年度はコロナ禍ということで、さまざまな制限がある中でのオープンスクールでしたが、約1500名の中学生と保護者の皆さんのが参加してください、盛況のうちに終えることができました。ありがとうございました。



第三学年クラスマッチ・弁論大会

11月27日(金)、第三学年クラスマッチが開催されました。男女サッカー、バレーボール、バスケットボール、○×リレーの4種目で行われました。日頃、コロナ禍のため生活が制限されているストレスを晴らすように、各競技を楽しんでいました。



また、12月16日(水)には、第三学年弁論大会を行いました。各クラス代表1名ずつが、家族への感謝や世の中に対する意見を、堂々と発表しました。代表者は、以下の通りです。

『アダルトチルドレン』	仲川 輝 (3-1 山形十中)
『ひいおばあちゃん』	尾華 彩希 (3-2 楢岡中)
『坊主のノリ』	飯塚 勇崇 (3-3 米沢五中)
『あの日言われたこと』	結城 宙 (3-4 天童一中)
『後悔しない生き方』	相馬 永実 (3-5 山形四中)
『自殺について』	鈴木 海 (3-6 蔵王一中)
『私のクセいじり』	中東 靖治 (3-7 松原五中)
『5万円の命』	佐藤 真羽 (3-8 山形十中)
『感謝いっぱい無限大』	西根 龍哉 (3-9 御野場中)



第44回 山形県高等学校総合文化祭 第68回 山形県高等学校 美術展

2020年10月9日(金)～11日(日)

東根市民体育館

奨励賞

伊藤 希 (2-8 大江中)
「紺碧色に染まる夏」



審査員推薦

藤田野花 (2-3 山形六中)
「find identity」



「find identity」藤田野花

「紺碧に染まる夏」伊藤希

「山形写真サロン」入賞

全国写真連盟県本部主催の写真コンテスト「第4回山形写真サロン」で本校写真部の山本弘美さん(3-2 上山南中)が優秀賞に選ばれました。その他入選した生徒は下記のとおりです。

コンテストの結果は、朝日新聞にも掲載され、表彰式は11月1日(日)に天童駅内パルテで行われました。



優秀賞	山本 弘美 (3-2 上山南中)
入選	阿部みのり (3-1 山形十中) 今野 花菜 (3-1 山形九中) 田宮 瑞歩 (2-1 天童一中) 薙科きらり (2-5 蔵王一中)



建学祭 夢現大～新しい風に乗れ～

10月23日(金)から28日(水)まで、授業と並行しながらの建学祭が開催されました。感染症予防のため、今年は模擬店や一般公開を行わず、展示を中心とした企画に限定しました。文化部や芸術・人間力探究科、委員会の他、1・2年生が取り組んだ調査や共同制作が展示されました。

1年生は新型コロナをテーマに、国内外の状況などを調査・発表したほか、1階の東海ホールには医療従事者やコロナに苦しむ人々に向けた一人一人のメッセージを展示しました。2年生は現在延期となっている修学旅行先の調査に加え、ひめゆりの塔と原爆ドームを描いた縦5.5m・横7.5mのモザイクアートを制作し体育館ステージに設置しました。3年生は23日(金)の午後2時間を使い、クラス毎のダンスステージを行いました。演出や衣装を凝らし、学年全員で楽しいステージを作り上げました。

24日(土)は校庭でセレモニーを行う予定でしたが、天候により教室での動画鑑賞となりました。吹奏楽部とダンス愛好会の動画と各クラスで取り組んだクラスムービーを鑑賞し、教室の中で建学祭を楽しみました。



建学祭実行委員 井上 鳩真(3-4 山形四中)

新型コロナウイルスは社会や経済、生活様式と多方面に、多大な影響を及ぼしました。その影響を受け、建学祭は5日間、各企画の規模を縮小という特殊な状況で開催しました。

初日は、3学年のダンスステージ企画から始まりました。雨のため教室内で実施したセレモニーでは、吹奏楽部による演奏とダンス愛好会の迫力ある発表が放映されました。各階には、文化部や委員会、学年ごとの展示企画、授業で取り扱った内容が展示されました。中でも、体育館に展示されてある2学年が作成した巨大モザイクアートは圧巻でした。

今年は、実施内容が大きく制限され、例年通りの建学祭にすることはできませんでした。しかし、この状況でも、できうる最高の建学祭を開催できました。建学祭実行委員並びに、チーフメンバー、全校生徒の皆さんに感謝を申し上げます。

私自身、これまでの人生で実行委員長のような責任ある役職を任されたことがなく、それも総勢100名を超える大規模な委員会なので、就任当初は不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、たくさんの仲間とたくさんの貴重な経験を積むことができました。この経験を糧に、今後の人生をより良いものにしていきたいと思います。最高の建学祭をありがとうございました。

生徒会選挙・ 第2回生徒総会

11月14日(土)新執行部による生徒会総会が開かれました。春の総会は三密を避けるため拡大代議員会とそれに続くクラス討議という形で行いましたが、今回はこの状況下でも全校生徒参加の総会を成立させるため、本会議場であるメディアセンターと各教室をZOOMで結び、決議や質疑、意見交換が可能となる双方向のオンライン総会を行いました。

短時間の略式で行った春の総会と違い、今回は例年通りの議題を用意し、執行部と各委員長がパワーポイントを用いて提案を行いました。決議は各教室の拍手をもとに、代議員がパソコンのカメラに「承認」の紙を映す形で全校生の意思確認を行いました。技術的な課題など学ぶことも多い総会でしたが、新しいスタイルに挑戦し、新生徒会は無事に乗り切ることができました。

決議された来年度のスローガンは「勇猛邁進」です。困難に負けず、東海生全員が突き進む年であってほしいと思います。

PTA環境部花壇とプランター整備

秋のPTA環境部の取り組みが、予定通り10月25日(日)に実施されました。今回はプランターや花壇の花の植え替え作業でした。この度も「花ひこうき」の戎野社長さんのご指導のもと、「パンジー」を植え替えました。前日の夕方から降り続いた雨も朝方には上がり、曇り空の肌寒い中の作業でしたが、事前に準備をしていたこともあり、作業はスムーズに進行し、約1時間で30個のプランターと花壇の整備が完了しました。

第1回目同様、多くの環境部の保護者の方に参加いただきました。特に3年生の役員の方は、ベテランのメンバーぞろいで、作業手順も把握しているため、心強い限りでした。

今年度は、コロナ禍の中でほとんどのPTA活動が中止となる中、環境部の花壇整備は行うことができました。役員の皆様も忙しい中、また、大変な状況の中、子どもたちが少しでも明るく高校生活を送ってほしいという思いもあり、積極的に参加していただきましたことに對し、深く感謝いたします。今後とも、素敵な花で多くの生徒を元気づけるといった活動を、多くの保護者の方に取り組んでいただきたいと思いました。1年間のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



「山形税務署長賞」と「公益社団法人 山形法人会会長賞」をいただきました

本校では、「自分の考えをまとめる力」、「相手に伝える力」を重視しています。これまで、「青少年読書感想文全国コンクール」に取り組み、その力の養成を目指してきました。今年度は、読書感想文コンクールの他に10の部門を加え、11の部門の中から自分に相応しいテーマを選び、夏期休業中の課題として、全生徒が「自分の考えを文字にまとめること」に取り組みました。

部門の1つであった「第59回 税に関する高校生の作文」コンクールにも多くの生徒が取り組み、2名が入賞しました。

「高校生交流集会」で聴いた「高校生のスピーチ」内容を、自分のものとして真摯に受け止め、「全ての高校生が平等に教育を受けることができる社会になるよう税金を利用してもらいたい」という思いをまとめた作文。

「8%から10%への消費税の引き上げ」を切り口とし、家族のことを例に挙げ、「納めた税金が違った形で納めた人に還元され、豊かな社会が形成されていく」という視点から「納税の大切さ」について書いた作文。

どちらの作文も、抽象論の展開とはならず、自分を取り巻く状況や体験を基に、自分の考えを素直にまとめた作品でした。

「税金を何に使ってほしいか」（山形税務署長賞）

秋葉未来（2-2 山形七中）

「税のあり方」（公益社団法人 山形法人会会長賞）

佐野晴香（2-4 長井南中）



12月

- 23日(水) 冬期休業（～1/6水）
冬期講習（～26土）（特進・総合進学）
28日(月) 13:30～学校閉鎖（～1/3金）

1月

- 4日(月) 冬期講習（～6水）（特進3年）
7日(木) ①校長講話、身だしなみ点検
(1・2年)③～④課題テスト、⑤LHR
(3年)③～④授業、⑤LHR
8日(金) 木曜日授業
大学進学二者面談（2年）
9日(土) 授業日（火曜日④⑤⑥⑦）
11日(月) 成人の日
12日(火) 大学入学共通テスト激励会（特進）
公務員講座
13日(水)～16日(土) 後期期末試験（3年）
14日(木) 生徒会各種委員会
16日(土) 授業日（月曜日①②）2時間授業
16日(土)～17日(日) 大学入学共通テスト
アンサンブルコンテスト県大会
17日(日)～18日(月) 学校閉鎖
19日(火) 推薦入試Ⅰ・学業奨学生入試
生徒休業（生徒校地内立ち入り禁止）
20日(水)～21日(木) 生徒休業（生徒校地内立ち入り禁止）

2月

- 22日(金) 3時間授業（金曜日①②③）（1、2年）
自由登校開始（3年）
入試合格発表
25日(月) 答案返却（3年）
27日(水) 高校現代文明論校内公開授業（1年）
28日(木) 3時間授業（木曜日①②③）（1、2年）
29日(金) 学校閉鎖
30日(土) 一般入試
31日(日) 学校閉鎖
- 2月
- 1日(月)～2日(火) 生徒休業（生徒校地内立ち入り禁止）
3日(水) 3時間授業（臨時）（1、2年）
登校日（3年）
PTA 常任役員会
6日(土) 専門学校ガイダンス（2年）
8日(月) 公務員講座
8日(月)～19日(金) 三者面談
10日(水) 生徒会各種委員会
11日(木) 建国記念の日
12日(金) ⑦漢字検定（1・2年）
17日(水) 登校日（3年）
20日(土) 授業日（月④⑤⑥⑦）
23日(火) 天皇誕生日
25日(木)～27日(土) 登校日（3年）
26日(金) 4時間授業（火曜日①②③⑥）
27日(土) 表彰式

社会に出てがんばっている先輩からのメッセージ

「山形県介護のお仕事プロモーション」として、12月14日(月)に社会福祉法人福寿会の渡辺さん、卒業生の松本莉奈さん(2016年卒業 山形六中)、菅原シーナさん(2017年度卒業 蔵王一中)が来校し、在校生の佐藤伸之介君(3-7 山形八中)と東海林愛華さん(3-8 山形一中)と対談しました。



—どうして福祉の仕事をしようと思ったのですか？

菅原：実習などを通して、やりがいを感じたのがきっかけです。おじいちゃん、おばあちゃんはたくさんの知識を持っているので、人生について様々学べると感じたのも理由の一つです。また、自分の明るさを活かして、楽しい生活を送る手助けができると思ったのもあります。

松本：人間力探究科の授業で福祉を選択しました。そのときの実習を通して、やってみたいと感じるようになりました。

佐藤：私も実習に行ったとき、人を支えていくことがどんどん楽しくなってきました。

東海林：おじいちゃん、おばあちゃんの知識がいっぱいあり、いろいろ学びたいと考えるようになりました。

—初任者研修の資格を取って仕事してみて、これからどうなっていきたいと考えていますか？

松・菅：介護福祉士をもっていないので、取れるように勉強していきたいと考えています。

—福祉の仕事をしていて難しいと思ったことは？

松本：緊急時の対応や、ご家族とのコミュニケーションが難しいと感じています。私自身が、コミュニケーションが苦手なので、大変でした。その他に、一人ひとりに寄り添ってケアをすることや体力的な大変さもあります。

菅原：私もコミュニケーションです。はじめは何言っているのだろうかとか言葉が聞き取りにくかったです。その他、ケアのときの入所者に合わせた細かい注意が大変だと思っています。

—どんなときに仕事をしてよかったです？

松本：一人ひとりに合わせて介助するのは大変です。でも、そのときに「ありがとう」といってもらえるとよかったです。

菅原：私も同じで「あなたに会えてよかったです」「まったくよ」と言ってもらえると、信頼されていると感じます。覚えてないだろうな、忘れてしまうのではないかと不安になることがあります。毎日関わることで信頼関係が築けて、見てもらっていると感じることができます。

—転職したいと思った時はあります？

菅原：就職した頃に、難しいと感じました。コミュニケーション以前の問題で、入所者の方が何を言っているのかわからず悩みました。

松本：いろいろな方がいるので、精神的に辞めたいと感じたことがあります。私しかいなくて、責任をもって対応しなければならない場面でも、そのように思いました。特に初めての夜勤のときなど、なにかあったときに対応できるかが不安でした。

佐藤：夜勤の時間帯はどのような時間帯ですか？

松本：夜10:00から朝の9:00までです。

東海林：どんなことをするのですか？

菅原：巡回して、眠れない方の対応をしたり、掃除をしたり様々なことをしています。別の階にも夜勤をしている方がいるので、何かあったときには助けて求めることもできます。

—介護士としてはたらくメリット・デメリットは何ですか？

菅原：私には身近にお年寄りの存在がありませんでした。しかし、母方のおばあちゃんがいるので、はたらきながら対応を学ぼうと思っています。自分の生活にも活かせると思います。デメリットは、年末年始に休めないことです。あとは、朝が早いことが大変です。

松本：戦争のこととか人生の先輩として様々教えてもらいます。人として成長させてもらっている感じます。夜勤明けの朝はつらいですね。

渡辺：以前よりは、休みも取りやすくなっていますし、給料も上がっては来ています。もっと上がればと思います。夏休みや冬休みの他に、有給休暇もちろんあります。

—新人介護士がもつ悩みは何ですか？

松本：家で介護したことがない人は、何のことを言っているのだろうとか悩むことはあります。

菅原：初めての社会人です。上司などに合わせるのが大変だと感じていました。早く仕事する必要はないのですが、プレッシャーでした。入所者の名前を覚えるために、メモを持ち歩いて、書いていきました。また、腰が痛かったです。仕事を覚えてきて、工夫することでだんだん痛くなくなってきました。

松本：大変ですが、先輩に相談しながら仕事を覚えていけば大丈夫です。腰は、寝具を変えて対応しました。家の仕事をしている人の方が、仕事を覚えるのは早いと思います。

渡辺：休みを合わせて、旅行に行く人もいます。趣味を見つけながら、楽しく仕事をしていますので、みなさん、就職するのを待っています。

編集後記

師走になり、辺りは例年のような雪景色になりました。しかし、今年はコロナウイルスに翻弄され、例年通りとはいえない1年でした。それでも生徒たちはたくましく、高校生活を謳歌していました。来年は丑年です。丑年は、先を急がず目前のことを着実に進めることができることが将来の成功に繋がっていくといわれています。慌てず騒がず一步ずつ前進させましょう。